

【授業の目標】

普段生活している環境には、音が常にあることと、音がコントロールされて生活していることを知る。

プログラム内容(1時限50分構成)

| 項目 | | 内容 | ねらい | 時間 (min) |
|-----|-------------------|--|--------------------------|-------------|
| 導入 | 講師紹介 | 講師挨拶と進行説明 | | 10 |
| | 企業紹介 | 会社概要の説明 一般的なゴムと早川ゴムが扱うゴム | ゴム材料の理解 | |
| 展開Ⅰ | 身の回りの音 | 身の回りで発生している音について知る。 心地よい音 不快な音 聞こえる音 聞こえない音 | 音について関心を深める | 5 |
| 展開Ⅱ | 実習 | 音の変化の実験 鉄板に、音対策製品を貼って、音の変化を確かめる。 ワークショップで、班ごとに音対策を実施して防音製品のコンペを開催。 | 音が変化することを実際に確かめる。 | 20 |
| 展開Ⅲ | 音の変化を利用した音対策製品の紹介 | 音が変化した理由の解説と、実習で体験した音の変化を利用した音対策製品の事例紹介 | 学校で学ぶ音やエネルギーの重要性を深める。 | 10 |
| 展開Ⅳ | 技術開発業務について | 開発での体験談や理科系科目の仕事とのつながりや面白さ | 講師の職業観を知ること、仕事の面白さを理解する。 | 10 |
| まとめ | 質疑応答 | 質問、感想 | | |